MAIL Order List 2024-#2

（2024 年 6 月 30 日作成）

www.tambourine-japan.com
email: song@tambourine-japan.com

（List 2024-#2 紙版使用表紙ジャケット）
NED ROBERTS:Heavy Summer(UK}）

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
Ａ￥１９８０(税込み¥2178)　Ｂ￥２１８０(税込み¥2398)
Ｃ￥２３５０(税込み¥2585)　Ｄ￥２５８０(税込み¥2838)
Ｘ￥４８０(税込み¥528)　Ｙ￥９８０(税込み¥1078)　Ｚ￥１４８０(税込み¥1628)
《数字表記価格は税込み》
※発売年が 10 年以上前の商品は検品してお届けします。

（送料）
※ご注文枚数に関係なく《一律１８５円》郵送
ただしＬＰを含む場合は一律５００円。
※代金引換送料（郵送）：590 円何枚でも）
ＬＰを含む場合は＋２５０円。
注文方法サイト：　http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm

【ご注文はできるだけ 7/14 までにお願いします】
●お問合せはメール（song@tambourine-japan.com）にてお願いします。
●ご注文の際、プライス又はプライス･コードをお書き願います。
●お問合せはメールにてお願いします。

（梅雨時の特選盤リスト）
*季節は巡ってはや、雨の季節。皆さま如何お過ごしですか？
*いつまで続く円安。前回通販リスト発行時が円安のピークかと

思いきや、もっと超円安になってしまいました。特にユーロと英ポンドに対しては超円安。しかし、イタリアの New Shot の新譜(Sammy Walker,Bill Morrissey)や SDP{Sandy Denny Project}の新譜など、もうこれ以上通販リストを先延ばし出来ず、新リストを発行することにしました。仕入れ先に事情を話したら、割り引いてくれるところもあって(感謝！)、ある程度前回レベルの価格設定を維持できました。
*今回は好きなものに絞って厳選した特薦盤ばかりです。

（分割払い）
*分割払いをご希望の方はお申し出下さい。最初のお支払いは請求額の半額になります。残り半額は 8 月 31 日までで０Ｋです。

Japan, USA, Canada, UK & Ireland, England, Ireland, Europe 他,

その他(CD,LP), 生山早弥香の CD, 堀田はりいの本, あとがき

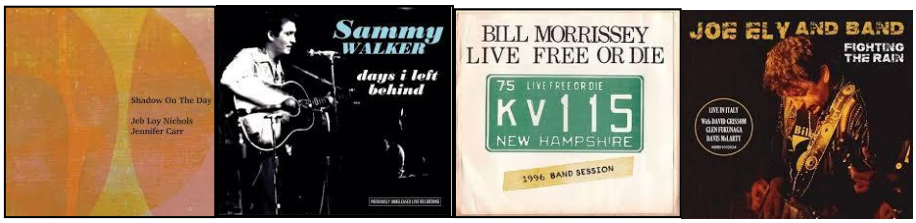
（ジャケ写掲載分が初入荷と初コメント商品です）

[CD/JAPAN]

(Chiyomi Yamada)

*CHIYOMI YAMADA＋BAOBAB:うつろい　　¥2273(税込み¥2500)
(fROOTS の元編集長の Ian A Anderson 氏の運営するサイトで知った日本民謡 CD。副題は"Songs Of My Land"。シンガーの山田千代美さんはドイツ在住の古楽の世界では有名なシンガー。Baobab{松本未来 & Maika}は大分県で活動する音楽ベースがアイリッシュ～ユーロ･トラッドの兄妹デュオ。「山田千代美はぼくの伯母さん」と未来君が教えてくれた。悠久感のある西欧の伝統楽器と和楽器{準メムバーの前田剛史[元鼓童]の篠笛が「和」のスピリットを高めている}混在のトラッド･サウンドは個々の楽器の伝統的サウンドが調和していて、汎ユーラシアン･トラッド風日本民謡とでも言うか、アラブ音楽の要素を持つ中世ヨーロッパの伝統音楽的志向性のある精神性の高い北欧のトラッドやケルト音楽のレベルの日欧トラッド混交の精神性の高い日本民謡を創生している。日本の民謡に目覚めた山田さんの唄は「節回し」こそ違うが、北欧トラッドやケルト音楽の高みを目指す女性トラッド･シンガーの幽玄さと通じ、ユーロ･トラッド･ファンの感性にフィットする。Produced by 山田千代美 & Jonas Niederstadt。ちなみに未来君と Maika さんの父親の松本公博さん(故人)は、ロバの音楽座座長の松本雅隆さんの兄さん。2023 作。Indigo Road)
※松本公博さん一家とは 29 年前にタムボリンが湯布院に越して来てからの家族ぐるみのお付き合い。

[CD/USA{Folk､Rock}系]



(Jeb Loy & Jennifer)　(Sammy Walker)　(Bill Morrissey)　(Joe Ely)

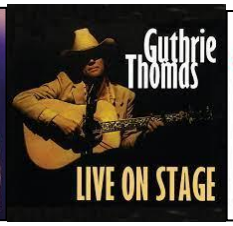
*JEB LOY NICHOLS & JENNIFER CARR:Shadow On The Day　C
(現在ウェールズで暮らす米国人 SSW の Jeb Loy Nichols の新作はピアノ奏者の Jennifer Carr とのコラボ。新作だが､まったくの新曲は 4 曲のみで他は Fellow Travellers 時代と過去のアルバムの曲。本人が｢これまで私が作ったものとはまったく違うサウンドで､新しい領域のように感る｣と言うように､多種多彩な音色のピアノの伴奏で静かににに口ずさむ Jeb の唄は､これまでの Jeb のアルバムよりも唄の純度が高く､彼の内省的な唄の滋味豊かな味わいがより深まった印象だ。音作りでこれだけキラキラしたものになるのか､と驚くばかり。まぎれもなく SSW アルバムの名盤。200 枚限定盤。2024 作。Jeb Loy Nichols)

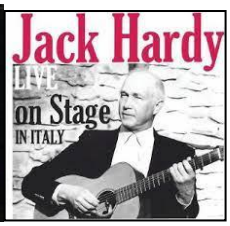
*SAMMY WALKER:Days I Left Behind　C
(1986 年 Sammy Walker のイタリアでのギター弾き語りライヴ。全 19 曲。本作は New Shot Records のボスの Renato Bottani が本作のリリースについて Sammy Walker に接触したとき､｢Sammy はニュー･アルバムのリリースにちっとも乗ってこなかった。私は彼のファンがその完全なる高精度なサウンドで提供される素晴らしいライブパフォーマンスを聴く機会を奪うわけにはいかないことをはっきりと彼に説明した｣と。Renato が Sammy を説得してから数ヶ月かかって念願のリリースが実現。"Songs From Woody's Pen"(1979 作)という素晴らしいアルバムがあるが､本作は Songs From Sammy's Pen"とでも言いたくなる､化粧なしのと言うかスッピンの Sammy Walker ソング。ギターをお伴にし､Sammy Walker 調でうたう彼の唄は優しく耳に心地よい。｢優れたパフォーマンスとサウンド､まさに宝の山！｣との Renato の言葉に偽りなし。2024 作。New Shot)

*BILL MORRISSEY:Live Free Or Die　D
(2011 年ツアー中に心臓病で亡くなった Bill Morrissey。本作は 1996 年に Bill Morrissey がバンド編成～Michael Toles{ｷﾞﾀｰ､電気ﾋﾟｱﾉ,David Walters{ﾍﾞｰｽ}､Danny Mack{ﾄﾞﾗﾑｽ}～で米国の Fourth Fret という音楽ルームでライヴ録音していた音源からの全 17 曲。この声､この声。苦虫をかみつぶしたような声というか､ノドをつぶしたような声で歯ぎしりでもするかのように粘着力ある唄をうたう。ライヴ録音のためか､一曲一曲が濃く感じられる。昔は彼のような個性的な SSW が多かった。バンド編成だが､バンドのサウンドは補助的でゆるく軽やか。Bill のねちっこいヴォーカルとゆるく軽やかなバンド･サウンドの組合わせが何とも心地よい。聴き終えて､気分爽やか。完全限定盤。2024 作。New Shot)

*JOE ELY AND BAND:Fighting The Rain　C
(1993 年に Joe Ely と彼のバンド{David Grisman,Glen Fukunaga,

Davis McLarty}がイタリアで行ったライヴ。Flatlanders の仲間の Butch Hancock 作４曲、Jimmie Dale Gilmore 作１曲、Joe Ely 作４曲、Robert Earl Keen 作１曲の全 10 曲。これがライヴのパワー炸裂の、もの凄いテキサス･スタイルのロック。Joe Ely はエレキギターをかき鳴らし、熱唱する。バンドの演奏も重厚。本作を聴けば、彼のどのアルバムも猫被ってると思ってしまう。Joe Ely の奥さんの Sharon も"Incredible!"と驚喜。2024 作。New Shot)





(John Hammond)　(Guthrie Thomas)　(Jack Hardy)

*JOHN HAMMOND:Birthday Blues Bash　C

(2001 年、John Hammond の 59 歳の誕生日にイタリアでギター弾き語りで行ったライヴ。Robert Johnson や Sleepy John Estes 等のブルース･ナムバーに混ざって Tom Waits の曲が 5 曲の計 18 曲。唄もギターもブルース魂が乗り移っていて圧巻。ブルース色を帯びた Tom Waits ソングは John Hammond 節に生まれ変わっている。これぞギター弾き語りブルースの真骨頂。2024 作。New Shot)

*GUTHRIE THOMAS:Live On Stage　C

(1983 年作にイタリアでリリースされた"Like No Other"の縁で、10 年後に実現した Guthrie Thomas のイタリアでの弾き語りのライヴ。それか 30 年後に CD 化されたのが本作。G.Thomas は 1980 年代前半に自身のレーベルからギターの弾き語りの素晴らしいアルバムを三枚発表しているが、本作はまるでその時代に行ったライヴかのように彼の誠実な唄が静寂の中、生き生きと収録されていて、ギター弾き語りフォーク･シンガー/SSW としての彼本来の魅力が 100%＋α味わえるライヴになっている。裏ジャケットにはギターのピックがデザイン。お伴のギターのサウンドも生き生きしている。フォーク/SSW ファンの宝物。2023 作。New Shot)

*JACK HARDY:Live On Stage In Italy　C

(1993 年に Jack Hardy がイタリア初公演を行ったときのライヴ。ライヴはバンド編成でメムバーは Jeff Hardy,David Hamburger, Wendy Beckerman。「このヴォーカル、このヴォーカル」。Jack Hardy を知ったのは、1978 年作の"The Nameless One"。その時の感動が甦る彼の彼らしい唄たち。自身のギターに加え、ドブロ、ベース、そして Wendy のバッキング･ヴォーカルによる音楽は滋味豊かで彼の個性的な唄と一体化していて心和む。全 17 曲。Guthrie Thomas も Jack Hardy もこの世にはもういない。2023 作。New Shot)

*TOM RUSSELL BAND:Live By The River 1993　C

(一時期ソロ活動と並行してバンドを組んで活動をしていた{Hardin & Russell}の Tom Russell の Tom Russell Band の最後のアルバムの"Hurricane Season"{1991 作}の二年後に行った Tom Russell Band による 1993 年のイタリアでのライヴ。テックスメックス風ロッキン･カントリー＆カントリー･ロック。2023 作。New Shot)

*THE BURRITO BROTHERS:Together　B

(嘘みたいにかっこよいカントリー･ロック。ヴォーカルもヴォーカル･ハーモニーもサウンドもあまりにも美味しすぎるワタクシ好みの常若のカントリー･ロック。2023 作。Store For Music)

*JEFFREY MARTIN:Thank God We Left The Garden C

(ポートランドの SSW の Jeffrey Martin の新作で四枚目。身震いするほどの素晴らしい SSW アルバム。2023 作。Loose Music)

*DAVE BAKER:Dead Men Don't Sweet Z

(Dave Baker なる素性不明のブルース･シンガーの 1997 年作。収録はイタリアでバック･バンドもイタリア人。Paul Butterfield もビックリな本醸造ブルース･ロック。ブルース･ギターなど滅茶苦茶センスが良く、シンガーを含め、ヴェテラン･ブルース･ロック･バンドの風格。Brambus)

[CD/CANADA]

*IAN TAMBLYN:Scenes Through A Mirror ¥3390(税込み¥3729)

(Ian Tamblyn の新作は CD 二枚組。1976 年作の"Ian Tamblyn"から 2020 年作の"A Longing For Innocence"の彼の録音音源から音楽人生を振り返って丁寧に選んだ 26 曲。一曲一曲が新たに制作された新作を味わう新鮮さ。仕事場の BGM ナンバーワン！2023 作。North Track)

*CHESTERRFIELD INLET:Mario Russell Z

(SSW で女優の Andrea Koziol とピアニストの Bill Brennan が結成したジャズ系フォーク･グループ"Chesterfield"の 1995 年作。Bill Brennan の軽やかなピアノをフィーチャーしたジャズ風サウンドに乗って、Andrea の裏返るヴォーカルが軽やかに舞う。Joni Mitchell がセンスの良いジャズ･バンドの伴奏で、爽やかにうたってる感じだ。最高に心地よい。CICD 01)

[CD/UK & IRELAND(SSW 系)]

(Slim Chance)

(Henry Girls)

*SLIM CHANCE:Phoenix Tapes C

(Ronnie Lane 時代の Slim Chance のオリジナル･メムバー、Steve Bingham, Charlie Hart, Steve Simpson に Brendan O'Neill, Billy Nicholls, Geraint Watkins も加わった再結成 Slim Chance の 2010 年以降に収録した音源からのライヴ二曲を含む 14 曲。二流センスの英国ロックというかフォーク･ロックというか、そのスタイルが身に染みついてしまって旨みたっぷりなゆるゆるの、これぞ愛すべき Slim Chance Music！"Roll On Babe"などを聴くと、Ronnie Lane の唄が聞こえてくる気がして不思議な気分になる。Ronnie Lane & Slim Chance ファンは至福保証。Pete Townshend がエレキ･ギター＆バッキング･ヴォーカルでゲスト参加の"Traveller's Joy"はアーシーなフォーク･ロックで 70 年代回帰気分。2021 作。Fishpool)

*HENRY GIRLS:A Time To Grow C

(アイルランドの Joleen{ヴォーカル､ハープ､ウクレレ},Lorna{ヴォーカル､ピアノ､ティン･ホイッスル､アコ､ウクレレ},Karen{ヴォーカル､フィドル､ウクレレ}の McLaughlin 姉妹の新作。本作はひと味違う。音楽はアイリッシュの香りがほのかに漂い､姉妹が紡ぎ出すゲール語を含む唄はしっとりとして穏やか。一曲目収録の"A Time To Grow"{この曲がアルバム･タイトル}は世界で争いが増えている今､暗闇の中から希望の光を希望する内容の唄で､アルバムを通して黄昏のような色調で染まっている。軽快なダンス曲がことさら明るく聞こえもする。心に響く逸品。2024 作。CPL)

*COLIN MACDUFF:Seperations B

(看護師退職後に高齢 SSW としてデビューした Colin Macduff の新作で二枚目。本作のテーマは｢別れ｣。重いテーマだが､Colin の唄は､前作と同様に自身が爪弾く響きの良いギターの弾き語りをベースにしていてひたすら穏やかで優しい。彼の人生経験から生まれたとてつもなく優しい唄の魅力は計り知れない。音楽は人生経験そして心。w.Maria Quinn,Angus Lyon,Jenna Reid。2024 作。Gran's House Studio)

*COLIN MACDUFF:The Past And The Sky B

(スコットランドの SSW の Colin Macduff の 2022 年のデビュー･アルバム。｢デビュー･アルバムは遅すぎない｣と自身が言う本作は､不思議な夜景のブックレットも自作の全 12 曲も夢色に染まっていて､どの唄もお休みソングのように心地よい。w.Angus Lyon, Jenna Reid 他。Colin Macduff)

*JOHN B SPENCER:Left Hand Of Love A

(1998 年リリースの John B.Spenser[1944-2002])のコンピレーション･アルバム。全 12 曲＋ヒドゥントラック 1 曲。改めて聴いて驚いた。ゆるい曲調のナムバーばかりを選んだのだろうか。John B の唄は飄々として渋く､いわば米国ルーツ･ロック志向の二流センスの英国ロック。フォーク､ブルース､テックスメックス､パブロック､カントリー･ロック､オールドタイム等米国ルーツ･ロックの旨み成分たっぷり。コンピだが､一枚のアルバムとして魅力的。Round Tower)

[CD,LP/ＵＫ] New Arrival

(Ned Roberts)

*NED ROBERTS:Heavy Summer(CD) D

*NED ROBERTS:Heavy Summer(LP)) ¥5450(税込み¥5995)

(7/3 入荷予定。ネットで聴いて胸キュン。英国のネット音楽マガジン KLOF マガジンのアルバム評が的を射た評なので､僕のコメント代わりに冒頭と文末の文を転載します。

｢ロンドンを拠点に活動する Ned Roberts の五枚目。彼がフィンガーピッキングで瞑想的な雰囲気を醸し出しています。ローレルキャニオンの穏やかな音楽のそよ風と Nick Drake､James Taylor,Tim Hardin の響きが続く田園的なフォーク･アルバム｣

「手の届かないものを探すこと、後悔、老い、創造的表現、子供時代そして反省といったテーマで編まれたアルバムは、瞑想的で静かに引き込まれるリスニング体験です。夏の田園風景の中で味わうのが一番いいかもしれませんが、薄れゆく日の薄れゆく光をサウンドトラックとして聴くこともできます」
2024 作。Ned Roberts)
※LP は仕入れコストが極めて高いので、少なめに仕入れています。
LP をご希望の方で CD でも可の方は「CD でも可」とお書き添え下さい。

[LP/ＵＫ]

*CHRIS BRAIN:Bound To Rise（夜明け）　　¥3818(税込み¥4200 円)
（2022 作。Big Sun Records）
タムボリン・オリジナル！クリス・ブレイン特製の 15 羽の鳥のポスター（A3 サイズ）と英語歌詞・対訳（船津潔）付。
♪英国の若きシンガーソングライターのクリス・ブレインの心惹かれるデビュー･アルバム。ニック・ドレイクやジョン・マーティンやジョニ・ミッチェルのようなシンガーの唄にインスピレーションを得たというクリスの唄は、彼がギターを爪弾き奏で出す美しいメロディーも、彼のおだやかでたゆたふようなヴォーカルもニック・ドレイクを想起させるもの。違うのはクリスの方は唄もギターも健やかなこと。木々などの清々しい新緑の中で、夢想しながらギターを爪弾き唄をうたっている感じなのだ。自分の感性に今最もピッタリの音楽。

[CD/FAIRPORT&FRIENDS]

(SDP)　　(Tradarr)

*SDP:Vol Two　　D
(SDP{Sandy Denny Project}は Tradarr の Marion Fleetwood, Gemma Shirley,PJ Wright,Mark Stevens＋Sally Barker{再結成 Fotheringay,Poozies}のスーパー･フォーク･ロック･バンド。本作は二枚目で、Sandy Denny ソングを Tradarr 流に新たな英国フォーク･ロックで創作したもの。リーダー格の PJ Wright は{FotheringayII,The Dylan Project,Little Johnny England}は「忠実な複製を提供するトリビュート･バンドではなく、復活と再解釈、素材を楽しみ、Sandy Denny の言葉では言い表せない称賛すべき唄に個々の特徴を加えることがすべて」と。
聴けば納得。Sandy Denny ソングをレパートリーにしてきた Sally Barker のヴォーカルを得て、しかもメムバー全員がヴォーカルをも担当し、リード･ヴォーカル＆バッキング･ヴォーカルのヴォーカル･パワーが抜群。加えて気概溢れるフォーク･ロック。音楽的には Fotheringay の流れの英国フォーク･ロックの印象。鳥肌立つ素晴らしさ。Sandy Denny の娘のジョージアも「母の才能を新たな輝きと才気で祝福」と絶賛。2024 作。SDP)
※一枚目はライヴ会場限定発売で在庫切れとのこと。

*TRADARR:Cautionary Tales C
(初入荷。Sandy Denny Project の Marion Fleetwood,Gemma Shirley,PJ Wright,Mark Stevens に Gregg Cave,Guy Fletcher,Brendan O'Neill の七人組フォーク・ロック・バンド"Tradarr"の2015 年のデビュー・アルバム。彼らが体現するのは"Liege & Lief"をベースにした今の時代のオリジナルな英国フォーク・ロック。男女のヴォーカルをはじめバンドの演奏もその気概が十分に発揮されていて、彼らのポジティヴなフォーク・ロックは感動的。とりわけ Fairport の"What We Did on Our Holidays"{1969 年}で有名な"Nottamun Town"{ラスト・トラック}は圧巻。ゲスト:Dave Pegg,Chris Leslie,Rick Sanders,Jerry Donahue。Hedge Of Sound)
*RICHARD THOMPSON BAND:Historic Classic Concert - Live In Nottingham 1986 C
(Richard Thompson Band{Richard Thompson,Clive Gregson,Christine Collister,Rory McFarlane,Gerry Conway}による発掘二枚組ライヴ。ラジオ曲収録ライヴで、"John The Gun"、"Shoot Out The Light"のほか全 21 曲。2024 作。Store For Music)
*CARLA FUCHS:Songbird B
(本作は"Songs Of Sandy Denny"の旗のもと、ドイツ人の SSW でマルチ演奏家の Carla Fuch がサンディーが残した未完成の曲をオリジナルに完成させたもの。伴奏はピアノやギターの弾き語りをベースにしたシンプルな音作りで、Carla Fuch の唄の世界を優しく包む。どの唄にも新たに優しい命が宿っている。2023 作。Talking Elephant)
*FAIRPORT CONVENTION:Shuffle And Go 1200 円(税込み 1320 円)
(フェアポートの 2020 年作。フェアポートのオフィスのミスで入荷。格安販売。Matty Grooves。

[CD/ENGLAND]

(Steve Turner) (Rosie Hood)

*STEVE TURNER:Curious Times C
(これぞイングランドのトラッドの真骨頂！と豪語したくなるヴェテラン・トラッド・シンガーでコンサーティーナ奏者 Steve Turner の新作。通算９枚目。自身が奏でるコンサーティーナをお伴にゆるくコブシの利いた何とも味わい深いシンギングは、齢を重ねた心あるシンガーのみが体得できる味わいだろう。Steve Turner は Nic Jones が"Halliard"時代にうたったブロードサイド・バラッド二曲などのトラッド・ソングを語り部となって毅然と、それでいて悠々とシンギングする。w.Martin Carty,Moira Craig{ヴォーカル・ハーモニーが良い雰囲気を添えている},Rob van Sante,Liz Turner,Allan Rose,Rikki Gerardy。全 13 曲。2023 作。Tradition Bearers)
*THE ROSIE HOOD BAND:A Seed Of Gold D

(偽りの愛の物語"The Swallow"で幕開けする Rosie Hood Band～Rosie Hood{ヴォーカル、ギター、ウクレレ、フィドル}、Nicola Beazley{フィドル、ヴォーカル}、Rosie Butler-Hall{フィドル、ヴォーカル}、Robyn Wallace{メローディオン、パーカッション、ヴォーカル}～の新作はイングランドの美しき女性トラッド・シンガー・アルバムの魅力に充ち満ちていて、心奪われる。トラッド曲ばかりではなく、自作曲、カバー曲もあるが、どれもが英国フォーク＆トラッド調の物語歌で、じわりじわりと時空を超えて、物語の世界へと誘われる。フィドルの音作りが絶妙で物語歌の不思議さを高めている。「フォーク・エリート達の間で Rosie Hood の地位を真に確立した黄金の輝きに満ちた素晴らしいアルバム」{folking.com}。2023 作。Little Red)

*HOLLY & THE REIVERS:Three Galleys C

(Holly は Nancy Kerr タイプの素晴らしいトラッド・シンガー。Reivers の二人は米国オールドタイム系のトラッド＆バラッド・シンガーで演奏家。Holly のシンギングを中心にトリオとして絶妙な一体感があって、英米トラッド音楽としての鮮度と熟成度の高さは並外れている。2023 作。Holly & The Reivers)

*NICK HART & TOM MOORE:The Colour Of Amber D

(トラッド・シンガーの Nick Hart が Nick Hart の各ソロ・アルバムでエンジニアリング等を担当していた Tom Moore がヴィオラとハーモニウムの演奏で共演。Nick はフォーク・リバイバル以降に陽の目を見たイングランドの豊富なトラッド曲からお気に入りの曲を英国トラッド調で朗々とシンギングするのだが、音楽は中世・ルネサンス音楽調。この古風で上品なトラッドサウンドが Nick の円やかなシンギングとマッチしていて、トラッド・ファンの耳を引く魅力にもなっている。「このデュオによる最初のアルバムはここ数年の他の英国の伝統的なアルバムよりもはるかに優れている」{folkradio}。2023 作。Slow Worm)

*THE MUSIC OF WILLIAM KIMBER C

(コンサーティーナ奏者でモリス・ダンサーだった William Kimber{1872-1961}の未発表曲多数含む 32 曲収録マルチメディア機能付 CD。２冊の解説書付。1999 作。EFDSS)

*CHRIS FOSTER:Outsiders A

(Nic Jones 他の名シンギングで著名なチャイルド・バラッドの名曲 "Lord Bateman"で厳かに幕開けする英国屈指のトラッド・シンガーの 2008 年作。英国風味香る自身のギターの弾き語りを要にした英国トラッドの香りに満ちた美しいトラッド・アルバム。FROOTS 誌の 2008 年年間ベスト・アルバム第二位。今聴いても惚れ惚れ。Green Man)

*THE DOVETAIL TRIO:Bold Champions A

(Rosie Hood{ヴォーカル}、Jamie Roberts{Gilmore & Roberts/ヴォーカル、ギター}、Matt Quinn{コンサーティーナ、ヴォーカル}の一姫二太郎のイングランドのトラッド・ユニットの Dovetail Trio の 2019 年作の二枚目。イングランドのトラッドの伝統的スタイルに立ち返るトリオのシンギングとサウンドに気分リフレッシュし、心洗われる。彼らのようなイングランドのトラッド色濃い音楽が近年少なくなった。GR)

*NANCY KERR & JAMES FAGAN:Twice Reflected Sun A

(Nancy Kerr & James Fagan 夫妻の 2010 作。Nancy の凛としたシンギングは格別で、James の表現力豊かなブズーキと Nancy の北

イングランドの香りたっぷりなフィドルの演奏と相まって、孤高の輝きを放っている。英国トラッドの名盤。Navigator)

*NICK WYKE AND BECKI DRISCOLL:A Handful Of Sky A

(男女の二人組の Nick & Becki による 2014 年作。双方がイングランドのトラッド・シンガーとして魅力的なシンギングを聴かせる上に二人がデュオで奏でるダンサブルなフィドルが新鮮で快い。またヴィオラに持ち替えれば重厚感が生み出される。イングランドのトラッドの気品と香りに満ちた英国トラッドの快作。WildGoose)

*ROGER WATSON:Past And Present A

(Muckram Wakes、New Victory Band の元メムバーでトラッド・シンガー＆ジャバラ奏者の Roger Watson の 2009 年作。滋味豊かなイングランドのトラッドの香り漂う唄と音楽。w.Jackie Oates。WildGoose)

*THE CANNON HILL IRREGULARS:In Their Prime Z

(Anthony Ingle,Graeme Taylor,Michael Gregory,Jon Davie の四人{短期間を含め三人が Albion Band の元メムバー}のツワモノから成る The Cannon Hill Irregulars の 2017 作。英国フォーク＆カントリーダンス・バンドのフォーク・ロックの何と魅力的で楽しいこと！言うなれば Albion Dance Band～Albion Band 系フォーク・ロック・スタイルで存分にフォーク・ロックしていてメチャ最高！Talking Elephant)

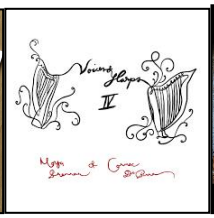
*PETE CASTLE:False Waters Z

(フォーク蒐集家＆研究家でトラッド・シンガーの Pete Castle の 1995 年作。イングランドを中心にアイルランドや英国のトラッド/バラッドをギター等の弾き語りを中心に家族他と演唱した本作は「これぞイングランドのトラッド！」の輝きを放っていて感涙。この気品と気高さと円やかさは貴重。13 曲目"Adieu to Old England"は Shirley Collins のヴァージョンではなく Harry Cox のヴァージョン。全 14 曲。Steel Carpet)

[CD/IRELAND 系]

デジパック・タイプを含め、元々開封されているものが多数あります。

(Molly Donnery)



(Moya & Cormac)

(Cuas)

*MOLLY DONNERY & THE CIDERHOUSE REBELLION

:A Little Bit Slanted ¥3150(税込み¥3465 円)

(歌詞ブックレット＋CD セット。本作は受賞歴のある女性アイリッシュ・トラッド・シンガーの Molly Donnery と英国の男性二人組の Ciderhouse Rebellion～Murray Grainger{ｱｺ} & Adam Summerhayes{ﾌｨﾄﾞﾙ}～のコラボ・アルバム。これが滅茶苦茶素晴らしい。ツアー中に意気投合した三人がたった二日間で録音したという。そのノリ気分がそっくりそのまま音楽になったというか、ゲール語と英語とでうたうアイリッシュ・ソングは軽や

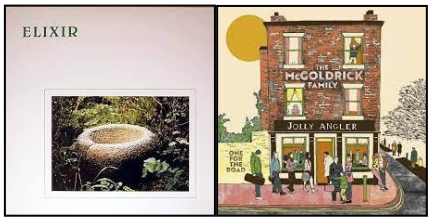
かで清々しく、Ciderhouse Rebellion の二人は Molly のメチャ素晴らしいシンギングと楽器で響き合うような演奏をしていて、Molly の美味シンギングをナチュラルに高めている。音楽全体に漂う爽やかな空気感が何とも快感。デジタルの時代、こんなの滅多にお耳にかかれない。奇跡の逸品。2024 作。Under The Eaves)

*MOYA BRENNAN & CORMAC DE BARRA:Voices & Harps Ⅳ C

(Clannad のシンガー&ハープ奏者の Moya Brennan と名ハープ奏者の Cormac De Barra の新作は伝説のハープ演奏家でシンガー{Voice & Harp}の Mary O'Hara に捧げられたアルバム。曲目は Mary の有名なレパートリー４曲を含むゲール語{5 曲}と英語の唄{6 曲}の全 11 曲。齢を重ねた Moya のシンギングはケルティックな幽玄さを保持しつつ、とても穏やかで優美で滋味豊か。おまけに二人のハープは優美に「侘び寂び」感があって、深く心に響く。聴くほどに感涙。Cormac もゲール語の唄を一曲うたっていて、Moya の唄と唄の趣が重なる。ちなみに 1954 年に Mary O'Hara が初めて英国ツアーをしたときに、Cormac の祖母の Roisin と大叔母の Mairin{Mary のハープ教師}は Mary とハープ･トリオを組んでツアーをしていて、Mary のゲール語の唄は二人由来とのこと。今年の 5 月 12 日、Mary の 89 歳の誕生日に本作の発売記念コンサートを行った際に Mary の家族も同席。CD には Moya,Cormac,Mary のスリーショット写真やセピア色のハープ･トリオの写真等が拝める。w.Eamonn De Barra,Clare Friel,Aislin Jarvis 他。2024 作。Beo)

*CUAS:Cuas C

(Cuas は Seamus Begley の娘の Méabh Ní Bheaglaoich{ヴォーカル、ｱｺ}, Nicole Ní Dhubhshláine{ｺﾝｻｰﾃｨｰﾅ、ﾌﾙｰﾄ}, Niamh Varian-Barry{ヴォーカル、ﾌｨﾄﾞﾙ他}, Kyle Macaulay{ｷﾞﾀｰ、ﾌﾞｽﾞｰｷｺ}から成るアイリッシュ･グループ。彼らは感動的な唄や活気に満ちた西ケリーの伝統音楽に触発されて結成されたグループ。本作は Seanscoil a' Chuasa という場所で友人や家族の前で録音されたライヴ･アルバムで、ノセノセの音楽も空気感も滅茶苦茶アイリッシュなライヴ感に充ち満ちていて、曲が終わるたびに、いや演奏中も歓声、拍手、口笛タップなどで大盛り上がり。Méabh のゲーリック･シンギングの二曲と Méabh & Niamh のデュエットの一曲の計三曲はアイリッシュ･トラッド･シンギングは清楚なシンギングで感動的。現地に行かずともアイリッシュ･ダンス曲の醍醐味ととびっきりの清楚な女性の唄が楽しめる。2024 作。Cuas)



(Elixir) (McGoldrick)

*ELIXIR:Elixir D

(昔売ったのに、ほとんど忘れかけていたアイリッシュの名盤。本作はブルターニュのシンガーでティンホイッスル、フルート奏者の Pol Huellou の呼びかけで集まったミュージシャンによるセッションと唄のアルバムで、招かれたミュージシャンは Liam Weldon{ヴォーカル}, Sean Howley{ﾌﾞｽﾞｰｷ}, Brian O'Donoghue

{ｷﾞﾀｰ},David Hopi Hopkins{ﾊﾞｳﾛﾝ}の四名。録音は1983年10月と1984年３月。呼びかけ人のPol Huellouのティンホイッスルの演奏が素晴らしく、ブズーキ、ギター、バウロンの演奏も誘発されるように見事な演奏を繰り広げる。今聴いても耳に新鮮。加えてLiam Weldonの必殺シンギング二曲収録。CDには制作にまつわる思い出話が記されている。1984年/2021作。Goasco Records)

*THE McGOLDRICK FAMILY:One For The Road D
(Michael McGoldrickと彼の姪三人とによる新作。いつもとちょっと違うMichael McGoldrick。フルートの演奏がメインだが、イリアンパイプス、ティンホイッスルに加えて、ギター、ベースにヴォーカル{ﾊﾞｯｷﾝｸﾞ･ｳﾞｫｰｶﾙだが}までやっていて、スリリングな演奏もあるものの、何より家族でアイリッシュを演唱して楽しむこと！そんな楽しさがバッチリ楽しめる気分ホッコリ＆笑顔なアイリッシュ。二曲で清楚なシンギングを披露するClaraの唄も心に響く。音楽に心が通ってます。クレジットにはない12曲目はMichaelの父親で名ティンホイッスル奏者Brendan McGoldrickによるティンホイッスル･ソロ。11曲目で切らないでね。2024作。Boxroom Music)

*JOHN CARTY & MICHAEL McGOLDRICK:At Our Leisure B
(John Carty{ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ､ﾌｨﾄﾞﾙ}とMichael McGoldrick{ｲﾘｱﾝﾊﾟｲﾌﾟｽ､ﾌﾙｰﾄ他}によるデュオ･アルバム。本作はバンジョーとイリアンパイプスのデュエットを中心にした伝統音楽回帰的なアイリッシュ。英国に移住したアイルランド移民達によって演奏されていたアイリッシュなどどこかアットホームで親近感を覚えるアイリッシュ。2022作。Racket)

※↑ジャケもCDも新品ですが、ジャケットの隅に何かで押したような痕が数カ所あります。

*CILLIAN VALLELY & DAVID DOOCEY:The Yew & The Orchard D
(Lunasaのイリアンパイプス奏者のCillian ValleyとGradaのフィドル奏者のDavid Doocのデュオ･アルバム。ふたりが奏でるアイリッシュの見事さは言葉を失うほど。イリアンパイプスとフィドルによるアイリッシュの魅力が詰まっている。全てが超一流。Sean Og Grahamの巧妙なギターもお見事。2023作。Cillian Vallely & David Doocey)

*GIORRAIONN BEIRT BOTHAR A
(CD-R。アルバム表記はアイルランドのことわざ"Giorraíonn Beirt Bother"{一人よりも二人がいい}のみ。すっかり忘れていたCDで聴くなり感涙。核を成す演奏家は６人。楽器編成はイリアンパイプス、フィドル、ブズーキ、コンサーティーナ、ギター、バウロン、ティンホイッスル。彼らが紡ぎ出すアイリッシュは伝統音楽として質も技量も最高レベルな上に二曲で名唱を披露する男性シンガーのゲーリック･シンギングの心に響くこと!さらにゲスト参加の女性シンガーのAine Ui Cheallaghのゲーリック･シンギング{２曲}もLiam Clancy{１曲}のゲーリック･シンギングも身震い。音質確認済み。2006作。Iontaisi)

[CD/USA{Celtic,Trad}]

*JEFF WARNER:Roam The Country Through Z
(フォークソング収集家でフォーク･シンガーのAnne & Frank Warner夫妻の息子Jeff Warnerの2018年のソロ。曲目は両親から

学んだ唄もあれば、古いレコーディングから覚えた唄など様々だが、Jeff のスタイルは米国の古謡に忠実なスタイルで、ギターやバンジョーやコンサーティーナを奏でながらうたう唄は、そのまま米国古謡の素朴な味わいに充ちていて、うっすら英国古謡の世界へとつながる味わいの唄もある。Pete Coe の音楽パートナーでトラッド・シンガーの Alice Jones が大半の曲でヴォーカル・ハーモニーとホイッスルなどの演奏で共演。全 17 曲。WildGoose)

[CD/SWEDEN]

*LJUS OCH LYKTA:Ljus Och lykta B
(三姫一太郎の四人組トラッド・バンド"Ljus Och lykta"の爽快デビュー・アルバム。曲目のほとんどはスウェーデン舞台芸術庁のアーカイブ。コレクションで見つけ出したトラッド曲だそうだが、彼らは若々しく自由闊達なソロ・シンギング＆ハーモニーで数々の伝統歌を生き返らす。伴奏楽器はフィドルとギター。スウェーデンのトラッドの香り立つフィドルが良い感じで北欧トラッド色を高めている。2022 年。Caprice)

[CD/NORWAY 他]

*WIZARD WOMEN OF THE NORTH Z
(ノルウェー屈指のトラッド・シンガーとミュージシャン{Tone Hulbaekmo,Annbjorg Lien,Sinikka Langeland,Aurola Borealis,Asne Sunniva Soreide,Kirsten Braten Berg 他}を中心にフィンランドから Tallari{1 曲}と Tellu{2 曲}そしてスウェーデンから Susanne Rosenberg{2 曲}を加えた編集 CD。全 19 トラック。この時代の素晴らしい北欧トラッド満載。1998 作。Heilo)

[CD/ESTONIA]

(6Hunesseq)

*6HUNESSEQ:Ma Olen Maa Peal V66ras C
(6hunesseq は女性四人エストニアの女性四人組トラッド・グループ。結成は 2021 年。ヴォーカルは Marion Selgall と Greta Liisa Grunberg の二姫。二人のソロ・シンギングとデュエットはフィンランドのヴァルティナのシンギング・スタイルと通じる印象だが、Marion と Greta の唄は控えめで優美で厳か。二人の唄もパイプオルガン、フィドル、タルハルパ{リラ型の弓奏弦楽器演奏}、タンバリン、片面太鼓等による民俗性豊かな伴奏も深い森の中{ジャケットを開くと神秘的な森の写真}に誘われるようなしっとりとした不思議感がある。二人の掛け合い唄も呪文のようにも聞こえる。グループ名は「湿気」の意味らしい。広く北欧トラッド・アルバムとして秀逸。2024 作。Nordic Notes)

*SILD:Tro Z
(Sild はエストニアの女性シンガーでフィドル奏者の Sille Ilves

とウェールズのギター、ハモンドオルガン奏者の Martin Leaman のデュオ。Sille の極北的で神秘的なシンギング{トラッド･シンガーとしてトップ･クラス}は絶品な上に、二人が奏でるアコースティック･トラッド･サウンドは厳かな深みがある。エストニアのトラッドとウェールズのトラッドとが彼ら流にナチュラルにブレンドされていて、トラッド･アルバムとして秀逸。Produced by Ceri Rhys Matthews。2008 作。Fflach)

[CD/SIBERIA]

(Vedan Kolod)

*VEDAN KOLOD:Birds C

(Vendan Kolod はロシアはシベリアのクラスノヤルスクの家族三名から成る民俗音楽グループ。シベリアやロシア西部の伝統歌を主なレパートリーで、言語は古ロシア語と古スラブ語。リード･ヴォーカルの Tatiana のヴォーカルはサーミ･シンガーの Mari Boine のヨイクのような呪術的な神秘性をたたえていて孤高。またカンテレ系古楽器のグスリや口琴や軍笛や各種打楽器などの古代ロシアの民族楽器のほかブズーキ、ギター、マンドリン、カリンバ等による土俗性豊かな演奏は、物悲しげで、不協和音に近いノイジーな音楽を奏でていて、異世界音楽のような独特な民俗音楽を創作している。彼らが目指すのは「シベリアやロシア西部地域の古代～中世の音楽文化復興」とのこと。全曲「鳥の唄」。歌詞英訳付き。2024 作。CPL-Music)

[CD/MORDOVIA]

(Merema)

*MEREMA:Eryamon' Koytneva C

(東欧のモルドヴィアから産声を上げた五姫と二太郎の七人組エレクトリック･トラッド･バンド"Merema"の 2022 年作。これは強烈。メムバー達はモルドヴィアの村々で現地調査を行い、モルドヴィアの伝統的民謡を収集し研究。失われつつある民謡を女性シンガー達による伝統的な節回しと呪術的な響きのポリフォニー･コーラスで甦らす。唄も凄みがあるが、馴染みのない伝統楽器と家庭用品＋電気楽器による土俗性豊かで斬新な演奏ももの凄い。眠りについていたご先祖様達も目を覚まして踊りだすかのようなおどろおどろしさだ。彼らの音楽は不気味で奥が深い。1990 年代にスウェーデンの Garmarna のアルバムを初めて聴いたときのような衝撃。ちなみにアルバム･タイトルは「生命の精神」

という意味。歌詞英訳付き。CPL-Music)

[CD/HUNGARY]

*MITSOURA:Dura Dura Dura C
(魔性を帯びた Mitsoura のヴォーカルとともに Makam 的感覚的異種交配サウンドを駆使して創作された音楽の鮮烈さと独創性は圧巻。2008 作。Ab Ovo Music)

*MAKAM:Almanach C
(Makam の 2004 年作。ハンガリアン・トラッドの名盤。FolkEuropa)

[CD/KLEZMER]

(Dobranotch)

*DOBRANOTCH:Vander Ikh Mir Lustik C
(Dobranotch はロシアのサンクトペテルブルク出身のクレズマーバンド。ロシアによるウクライナ侵攻後、バンド・メムバーの一部はドイツに亡命。ドイツで新たなメムバーを加えて再結成して制作したのが本作。フィドル、クラリネット、サックス、バンジョー、チューバ、アコ、フルート、ツィンバロン、ドラムなどによる彼らのクレズマーはバルカン音楽やジプシー音楽や東欧音楽の要素を混ぜ込んだエネルギッシュなクレズマー。プロ根性は半端じゃない。浮かれ気分の人達で賑わう村祭りにでも迷い込んだ気分。イディッシュ語とロシア語でうたう男性シンガーの唄も村祭り気分満点。唄はどことなくロシア民謡風の味わいも。歌詞英訳付き。2024 作。CPL-Music)

☆ ☆ ☆ ☆

その他色々

☆ ☆ ☆ ☆

※在庫各 1～2 枚。検品してお送りします。

(CD/USA)

*MARTIN & NEIL:Tear Down The Walls B
(Vince Martin & Fred Neil による 1964 年作。w.John Sebastian, Felix Pappalardi。1964 年/2002 作。Collector's Chice Music)

*TOWNES VAN ZANDT:For The Sake Of The Song A
(解説:Mickey Newberry。Townes Van Zandt のデビュー・アルバム。1968 作/1993 作。Rhino)

*TOWNES VAN ZANDT:The Nashville Sessions(1993 作。Tomato)A
(解説:Mickey Newberry。Townes Van Zandt のデビュー・アルバム。1968 作/1993 作。Rhino)

*JEFF TAREILA:Dust Devils Dance A
(Jack Hardy の Fast Folk 出身の SSW、Jeff Tareila のデビュー作。卓越したギターの弾き語り。真っ直ぐさが嬉しい。ゲスト:Jack Hardy。JT-001)

*DONNIE FRITTS:Everybody's Got A Song(1997 作。Oh Boy) A

*TIM O'BRIEN:The Crossing A

(ゲスト:Altan,Seamus Egan,Frankie Gavin,Darrell Scott,
Stuart Duncan 他。1999 作。Alula)
*JIM ROONEY & ROONEY'S IRREGULARS:My Own Ignorant Way A
(2001 作。JRP)
*GENE CLARK & FRIENDS:Live At The Three T's A
(1985 年インディアナのクラブでのライヴ。Rick Roberts,
Michael Clark 他。全 14 曲。2019 作。Leftfield Media)
*ELLIS PAUL:Live(二枚組。全 27 曲。2000 作。Philo) A
*ELLIS PAUL:The Speed Of Trees(2002 作。Philo) Z
*TIM BUCKLEY:Honeyman Z
(1973 年のライヴ。全 9 曲。1995 作。Edsel)
*BROOK WILLIAMS:Inland Sailor(1994 作。Green Linnet) Z
*ROGER McGUINN & BAND:Roger McGuinn & Band Z
(1975 年作にボーナス曲{ライヴ}二曲が入った CD 再発盤。2004 作。
Sundazed)
*DORRIS HENDERSON:Here I Go Again Z
(ゲスト:John Renbourne{Acoustic & 12 String Guitar,Vocal}。
2003 作。Market Square)
*KIMMIE RHODES & WILLIE NELSON:Picture In A Frame Z
(2003 作。Sunbird)
*NEIL CASAL:Anytime Tomorrow(2000 作。Glitterhouse) Z
*KIERAN KANE & KEVIN WELCH:11/12/13 Z
("Live In Melbourne"。2000 作。Dead Rockoning)
*KINKY FRIEDMAN & LITTLE JEWFORD:Classic Snatches Z
From Europe(2000 作。Sphincter)
*ROD MacDONALD:Highway To Nowhere(1992 作。Shanachie) Z
*STEVE EARLE:Live From Austin Tx(2008 作。New West) Z
*CHIP TAYLOR:The London Sessions Bootleg ＋ Z
(ゲスト:Lucinda Williams{3 曲}。1999 作。Train Wreck)
*JOHN McCUTCHEON:Autumn Songs(1998 作。Rounder) Z
*LUI COLLINS:Leaving Fort Knox(2000 作。Molly Gamblin) Z
*JAYHAWKS:Blue Earth(1989 作。Twin/Tone) Y
*MARY GAUTHIER:Filth & Fire Y
(Produced by Gurf Morlix。2002 作。In The Black)
*DAVID RODRIGUEZ:Landing 92(1992 作。Brambus) Y
*BLUES BREAKERS:C'Mon(Extraplatte) X
*HARY WETTERSTEIN:Secret Blues(1993 作。Extraplatte) X
*WIENER TSCHUSCHENKAPELLE:G'rebely Live X
(1994 作。Extraplatte)
*GARY CORNELIUS:Feather(1997 作。OMC 0003) X
*MY FRIEND STEVE:Hope & Wait(1998 作。Attic) X

(サンプル CD/USA)
*RICHARD SHINDELL:Courier X
(バーコードに７～８ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。
2002 作。Signature Sounds)
*NEW ORLEANS RAGTIME ORCHESTRA:Grace And Beauty X
(バーコードに７～８ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。
2001 作。Delmark)

(CD/USA{Trad,Celtic 他})

*PATRICK BALL:Celtic Harp A
("The Music Of Turlough O'Carolan"。1983 作。Fortuna)

*OLD MOUNTAIN "Stringband Songs & Tunes" A
("25 Original Mono Recordings 1927-1931"。全 25 曲。2004 作。Sanctuary)

*ENSEMBLE GALILEI:A Winter's Night A
(Sue Richards,Liz Knowles 他。2002 作。Maggie's Music)

*AEOLIAH:The Journey Home(1991 作。Helio Music) X

(CD/Canada)

*BRUCE COCKBURN:Dart To The Heart(1994 作。True North) Z

(サンプル CD/Canada)

*CORBIN MURDOCH & NATUTICAL MILES:Tell Me Again How This Place Got Its Name X
(バーコードに一ミリの穴の開いたほぼ新品のサンプル盤。2005 作。Corbin Murdoch)

(CD/UK,British Folk)

*SPRIGUNS:Revel Weird And Wild A
(国内盤。解説:立川芳雄。1976 年/2004 作。ユニバーサル)

*THE SKIFFLE SESSIONS:Live In Belfast A
(Van Morrison,Lonnie Donegan,Chris Barber。Produced by Van Morrison。2000 作。Virgin)

*VULCAN'S HAMMER:Vulcan's Hammer A
("Erewbon Underground Folk Rock Series 1968-1978"。Kissing Spell)

*MICK GREENWOOD:Living Game A
(w.Jerry Donahue,Pat Donaldson,Gerry Conway,Terry Cox。1971 年/2000 作。Voiceprint)

*GREGSON & COLLISTER:Love Is A Strange Hotel Z
(国内盤。解説:和久井光司。1991 作。キング)

*TANSADS:Flock(1994 作。Castle Communications)

*JEF TARLTON:Dragin Spring(2000 作。Delerium) Y

*COCHISE:Past Loves A History(1992 作。Edsel) Y

*SALLY'S FRIENDS:Boys Of The Town Y
(1979 年/2004 作。Kissing Spell)

(CD-R/Scotland)

*RAY FISHER:The Bonny Birdy ¥5800
(1970 年代ブリティッシュ・トラッドの名盤。w.Martin Carthy,Ashley Hutchings,Tim Hart,Peter Knight 他。音質確認済み。1972 年/2000 作。Leader)

(CD{EP}/Scotland)

*KRIS DREVER Eamonn Coyne And Megan Henderson Y
(全５トラック。2012 作。Reveal)

*RODDY HART & GEMMA HATES:Dylan EP X
(ディラン・ナンバー４曲収録 EP。2011 作。ertical)

(CD/England)

*RALPH McTELL:As Far As I Can Tell B
(Ralph の自叙伝の出版記念ツアーで思いついた唄と朗読を組み合わせたＣＤ３枚組。2008 作。Leola)

*FAIRPORT CONVENTION:Before The Moon A
(２枚組。1974 年の米国デンバーでのライヴ。メムバーは Sandy Denny,Trevor,Lucas,D.Swarbrick,D.Mattacks,D.Pegg,Jerry Donahue。全 20 曲。P22 のブックレット付。2002 作。Pilot)

*FAIRPORT CONVENTION:WHO KNOWS？ A
(1975 年の英国でのライヴ。メムバーは Sandy Denny,Trevor Lucas,D.Swarbrick,D.Pegg,Jerry Donahue,Bruce Rowland。全 13 曲。2005 作。Talking Elephant)

*THE GATHERING BRITANNIA:The Bridge Between A
(Ray Jackson,Jerry Donahue,Doug Morter,Rich Kemp,Clive Bunker そして Jerry Donahue の娘の Kristina Donahue という Fairport,Fotheringay,Albion Band,Steeleye Span,Jethro Tull 出身者による夢のバンド。時折ブルース色を帯びるフォーク･ロックは実に美味。Kristina の優美なヴォーカルがが花を添えている。2011 作。Itsaboutmusic.com)

*THE RADIO BALLADS "The Ballad Of The Big Ships A
(1950 年代後半に Ewan MacColl と Charles Parker が制作を担当した BBC Ridio Ballads から 14 曲。2006 作。Gott Discs)

*CHRIS SHERBURN･DENNY BARTLEY:Last Night's Fun! A
(w.Kate Rusby,John McCusker 他。1995 作。Sound Out Music)

*SPIERS & BODEN:Tunes Z
(英国トラッドの名盤。2005 作。Fellside)

*JUDY DUNLOP:My Arms Are A Cradle Z
(Produced by Ashley Hutchings。1999 作。HTD)

*ALBION BAND:Captured Z
(1990 と 91 年の Albion Band{A.Hutchings,Julie Matthews,Phil Beer,Simon Care,Trevor Foster}と 1992 年の Albion Band の音源からの編集盤。全 13 トラック。2009 作。Talking Elephant)

*OYSTERBAND:The Shouting End Of Life Z
(1995 作。Cooking Vinyl)

*THE RHEINGANS SISTERS:Bright Field(2018 作。Rootbeat) Z

*MARTYN WYNDHAM-READ & NO MAN'S BAND:Back To You Y

*THE HUT PEOPLE:Home Is Where The Hut Is Y
(2009 作。Fellside)

*JUDY DINNING:Fine Times X
(「フォーク･シーンで最も優れたシンガーの一人」(Mike Harding,BBC Radio 2)。2003 作。MWM)

(CD/Ireland 他)

*CLANNAD:Magical Ring A
(ボーナス曲一曲付きの Deluxe Edition 版。1983 年/2003 作。BMG)

*CLANNAD:The Best Of Clannad "In A Lifetime" A
(ボーナス CD 付き二枚組。全 26 曲 2003 作。BMG)

*THE RADIO BALLADS "Thirty Years Of Conflict" A
(1950 年代後半に Ewan MacColl と Charles Parker が制作を担当し

た BBC Ridio Ballads から 10 曲。2006 作。Gott Discs)
*SEAN CANNON:The Roving Journey Man A
(アイリッシュ・トラッドの名盤。1977 年/2004 作。Kissing Spell)
*CHARLIE LENNON:Time For A Tune Y
(6 月 8 日に逝去した Charlie Lennon の 2006 年作。w.Michael McGoldrick,Johnny Connolly,Brian Lennon,Michael O'Brien 他。Worldmusic Publication)
*JOE HOLMES:Here I Am Amongst You Y
(CD-R。With Len Graham。"Traditional Irish Songs,Ballads, Lilts & Fiddle Tunes"。2010 作。Cranagh Music)
*MIKE & MARY RAFFERTY:The Old Fireside Music Y
(1998 作。Larrago)
*MIKE & MARY RAFFERTY:The Road From Ballinakill Y
(1998 作。Larrago)
*WAXIES DARGLE:World Tour Of Ireland(Brambus) X

(CD/Australia)
*COLE,KIRKPATRICK & VAN DIJK:Crows Three A
(オーストラリア発ブリティッシュ・トラッド。2002 作。Treekin)
*BIG TRIBAL HEART:Birds In A Jungle Of Time Z
(1990 作。Extraplatte)

(サンプル CD/Galicia)
*CRISTINA PATO:Los Sentidos ¥150
("LosSentidos"と"Ds Sentidos"の二曲収録のサンプル盤。 Fono Music)

(CD/Austria)
*ANDREAS SAFER:Gwoxn X
(1993 作。Extraplatte)

(CD/Bulgaria)
*SESTRI BISSEROVI:Pirin Wedding And Ritual Songs Z
(1995 作。Pan)

(CD/Bulgaria,Russia)
*OLD BULGARIAN AND RUSSIAN ORTHODOX CHANTS
"Gusla Male Choir"(1998 作。Balkanton) X

(CD/Gypsy,Klezmer,Hungary)
*LENA ROTHSTEIN & ENSEMBLE:Como La Rosa Y
("Cantos Judeo EspanolesⅡ"。1993 作。Extraplatte)

(CD/Argentine)
*MUSIC OF THE ANDES AND ARGENTINA Y
(Tahuantinsuyo,Fabian Mozaurieta,Los Troeros Cuyanos によるアンデスとアルゼンチンの音楽。1992 作。Music Of The World)

(CD/Native American)
*VASQUES:Wind River Z

(ゲスト:Rita Coolidge。1997 作。Mikoche Music)

(中古 CD/Hungary)

*VUJICSICS ENSEMBLE:Southern Slav Folk Music Z
(国内盤。解説:濱田滋郎。台風被害品。裏ジャケの僅かな雨染み以外は新品同様。1989 作。Alpha Enterprise)

*ROBERT MANDEL:East European Hurdy-Gurdy Music Z
(国内盤。解説:森田純一。台風被害品。ブックレットにうっすらと雨染み。CD 自体は新品同様。1989 作。Alpha Enterprise)

［ＬＰ］在庫各 1 枚。多少経年劣化気味。欧州盤は封なし。
※検品してお送りします。

(LP/Guitar)

*PETER RATZENBECK:Over The Years ¥3800
(オーストリアのギタリストの 1990 年作。ゲスト:Andy Irvine{ヴォーカル、ブズーキ},Colin Wilkie{ヴォーカル、ギター}。Shamrock)

(LP/USA 系)

*HANS THEESSINK:Slow & Easy ¥3800
(ゲスト:Gerry Lockran{ヴォーカル、ギター}。1978 作。Autogram)

*KENNY ROGERS AND THE FIRST EDITION
:The Ballad Of Calico ¥3800
(国内盤。二枚組。解説:和田誠司。1985 作。ワーナー・パイオニア)

(サンプル LP/USA)

*RONNIE BARRON:Blue Delicacies Vol.1 B
(国内盤。解説:長門芳郎。1981 作。Vivid)

*SEVERIN BROWNE:Severin Browne B
(Jackson Browne の弟 Severin の 1973 年作の一枚目。Produced by Larry Murray。カット盤で裏ジャケに"Not For Sale"のスタンプ。Motown)

(LP/USA{Trad,Celtic})

*PATRICK BALL:The Ugly Duckling B
("Recordings For Children From Windham Hill"。1987 作。Windham Hill)

(LP/CANADA)

*BIM・CONNIE KALDOR:A Christmas Album B
(1985 作。Aural Tradition)

*CHRIS RAWLINGS:Chris Rawlings B
(現役で活動中のカナダの SSW の Chris Rawlings の 1984 年作のコンピレーション・アルバム。全 10 曲。ゲスト:Anna McGarrigle.Bill Garrett,Cathy Fink。Cooking Fat Music)

*SHARI ULRICH:Talk Around Town A
(カット盤。1982 作。MCA)

(LP/UK)

*GERRY LOCKRAN:Across The Tracks ¥4800
(1982 作。Autogram)

*KEITH JAMES:On The Rebound(1982 作。Paro)　　A

(LP/PORTUGAL)
*JOSE AFONSO:Venham Mais Cinco(1973 作。Orfeu)　　D

［中古ＬＰ］特記なしはほぼ新品同様
(LP/USA})
*GET FOLKED "Live At Charlotte's Web"　　¥4800
(盤は美盤。ジャケットは経年劣化。1973 作。Mountain Railroad)
*BILLY HALLQUIST:Travelin'　　¥4800
(盤は美盤。ジャケットは経年劣化。1975 作。Mill City)
*CARL BROUSE:American Hotel(w.Amos Garrett。1983 作。DTI)　B
*DUKE ROBILLARD:You Got Me　　A
(カット盤。w.Dr.John。1988 作。Rounder)

(LP/CANADA 他{Trad,Celtic})
*RED ISLAND:In Pursuit Of The Wild Bologna　　¥3800
(ニューファンドランドのエレクトリック･トラッド･バンドの唯一のアルバム。1978 作。Quay)
*75 MARIPOSA FOLK FESTIVAL　　¥3800
(二枚組。Boys Of The Lough,Aly Bain,Michael Cooney,Tommy Makem,Rita MacNeil,Original Sloth Band,Malvina Reynolds, Margeret Christl,Rosalie Sorrels,Bruce Phillips 他。全 31 曲。1976 作。Mariposa Folk Festival)
*FIGGY DUFF:After The Tempest(1985 作。Celtic Music)　　B

(LP/OCCITANIA)
*PERLINPINPIN FOLC:Als Curios　　D
(オクシタニアのトラッド･バンドの 1982 年作。かつてのベストセラー。Revolum)

(LP/YUGOSAVIA})
*VILLAGE MUSIC OF YUGOSLAVIA(1971 作。Nonsuch)　　A

(LP/HAWAII})
*CECILIO & KAPONO:Cecilio & Capono　　C
(w.Craig Doerge,Russ Kunkle,Leland Sklar 他。1974 作。Columbia)

《生山早弥香の CD》

(Light)　　(Wandering Aengus)

*生山早弥香:Light　　税込み¥2500
(アイリッシュハープ･ソロアルバム二枚目。2011 作。タムボリン)
「“Light”を聴けば、アイリッシュ・ミュージックとスコティ

ッシュ・ミュージックの技と型に精通した音楽家であることがはっきりとわかる。魅惑の精妙さと、演奏法の、いくつかの歓喜の展開が彼女の演奏に宿っていて、壮麗な気分を経験させる」（イギリスの音楽雑誌「fROOTS」の 2012 年 6 月号）

*CEIS:Wandering Aengus　税込み¥2500

（Ceis{ケーシュ}～生山早弥香{アイリッシュ・ハープ} & AGATA {ヴォーカル、ケルティック・ハープ}～によるアイルランドやスコットランドの伝承歌集。英語歌詞日本語訳:船津潔。2013 作。タムボリン）

「生山早弥香はハープ演奏に曲の魂をとらえつつ、スコットランドやアイルランドの音楽に心酔してきた。今、彼女はこれらの伝承曲の中から偉大な歌に注目する。それらの歌を日本語に替え、ケーシュは新たな聴き手と、より深き味わいを求める聴き手に向けて、信じられないほど見事な曲をくり広げている」イギリスの音楽雑誌「TheLiving Tradition」の元編集長ピート・ヘイウッド）

《堀田はりいの本》

☆古代ファンタジー小説『東遊伝—鷹王と八百万の神々』　¥2200
（2012 年。梓書院）

☆『神宿る沖ノ島—古代日本人が見えてくる』　¥1800
（2018 年。右文書院）

☆『古代天皇誕生記—こうして天皇の国は生まれた』　¥1800
（2019 年。右文書院）

☆『卑弥呼の時代－絵画で旅する倭人伝』　¥2200
（B5 判・ 104 頁・オールカラー。2021 年。右文書院）

《消費税免税》

※『神宿る沖ノ島』は宗像観光協会取扱商品として道の駅むなかたに 9 月新規オープンする FROWER＆CRAFT「higoro」でも販売されることになりました。

♪堀田はりいと猫サリーのブログ
https://ameblo.jp/toyuden/
※船津の別趣味（日本文化のルーツの話など）と愛猫と生山早弥香音楽活動のブログ。2012 年から 10 年間せっせと書いていましたが、この２年間は更新を休んでいます。

（あとがき）

*イタリアの New Shot は目が離せませんね。Jack Hardy や Guthrie Thomas や David Wiffen 等、過去の未発表ライヴ盤に続いて、Sammy Walker や Bill Morrissey や Joe Ely の過去の未発表ライヴ盤。今どき好きじゃなきゃ、こんなレコード会社立ち上げませんよね。ボスの Renato Bottani 氏と昔話を楽しんでいます。

*4 月 5 日から 4 月 7 日まで東京に行ってきました。学生時代から

の親友(盛岡を拠点に田口友善の名で活動している SSW)と会うためでしたが、せっかくの上京だからと友人・知人を誘ってカフェで会いました。
5 日、学生時代の音楽サークルの後輩がセカンドライフで始めた西荻窪のカフェ MJG で音楽評論家の松村洋さん、北中正和さん、山岸伸一さん(平塚から！)等とよもやま話を楽しみました。皆さん齢を重ねて益々健筆。そしてお元気。お会いして気持ちが前向きになりました。ミュージック・マガジン編集長の矢川俊介さんも駆けつけてくれました。
6 日、昔暮らした高尾を散策したあと、あきる野のカフェ・トラモナへ。ご主人の浦野茂さんはタムボリンが福岡で通販を始めたときからのお客さん。その時代の手書き・ガリ刷りの通販リストもお持ちでした。浦野さんのカフェで、浦野さんを含め七名(わざわざ川崎や甲府や北区からも)の古くからのお客さん達と嬉しい再会＆初対面が果たせました。
この日、浦野さんへのプレゼントでブラックホークで発行されていたブラックホーク・ニュースのコピーを持参したところ、偶然にも須田稔さんも持参されていました。
7 日は田口君と母校に立ち寄ったあと、代々木公園で花見。
連日積もる話は尽きませんでした。思いの外楽しい三日間でした。
*通販リストの版下作成中に英国の SSW の Ned Roberts とようやく連絡が取れて、彼の新作"Heavy Summer"を急きょリストに加えました。リスト表紙のジャケ写はアイルランドの Molly Donnery & The Ciderhouse Rebellion を予定していましたが、Ned Roberts の "Heavy Summer"(夏前リストに相応しいタイトル)にしました。
*雨の季節ですが、久し振りに集中的に好きな音楽に浸ったせいか、気分は晴れ晴れです。元気をくれる音楽に感謝！(船津)

タムボリンの前の原っぱの樫の木。
湯布院塚原高原に引っ越して来た頃に樫の木の苗木を植えました。今では大木。木と地面の間が空間ができているのは、鹿が葉っぱを食べたからです。秋には連日樫の木のドングリを食べにわんさか鹿がやってきます。